

安全データシート

1. 製品及び会社情報

Cat.No. : 530750
 製品名 : Vario Molybdenum HR 1 F10mL
 会社名 : セントラル科学株式会社
 住所 : 〒112-0001 東京都文京区白山 5-1-3 東京富山会館ビル
 担当部門 : 品質保証部
 電話番号 : (03) 3812-9186
 FAX 番号 : (03) 3814-7538

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 健康有害性 急性毒性：吸入（粉塵及びミスト）：区分5
 皮膚腐食性/刺激性：区分3
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分2
 特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性）
 特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分1（自律神経系（ダスト吸入の場合））
 環境有害性 水生毒性（急性）：区分3

GHS ラベル要素：



危険

危険有害性情報：軽度の皮膚刺激
 重篤な眼への損傷
 吸入すると有害のおそれ
 気道への刺激のおそれ
 長期又は反復暴露による臓器の障害（自律神経系）
 水生生物に有害

注意書き：

<安全対策>

適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

粉塵／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

<応急措置>

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の手当を受けること。

気分が悪い場合：医師の診断/手当を受けること。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の手当を受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い場合は医師の手当を受けること。

<保管>

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良いところで保管すること。

<廃棄>

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
こはく酸	45～50%	(CH ₂ COOH) ₂	2-846	110-15-6
アジピン酸	45～50%	HOOC(CH ₂) ₄ COOH	2-858	124-04-9

4. 応急処置

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除き、多量の水で洗い流す。
 眼に入った場合： 直ちに多量の流水で 15 分以上洗い流す。きれいな指で瞼を開いて洗い流す。医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合： よく口をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の手当を受ける。
 重要な徴候： 吸入した場合： 刺激
 飲み込んだ場合： 悪心、粘膜の刺激

5. 火災時の措置

消火剤： 水、泡、二酸化炭素
 火災時特有の危険有害性： 火災時に有害なガスが発生するため、消火の際には適切な保護具を着用する。
 可燃性。
 特定の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は周辺に散水して冷却する。
 消火を行う者の保護： 消火活動は風上から行い、有害なガス又はミストの吸入を避ける。適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置： 作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、蒸気を吸入しないようにする。関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。風上から作業して、風下の人を退避させる。
 環境に対する注意事項： 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。汚染された排液が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
 封じ込め及び浄化の方法・
 機材： 飛散したものを掃き集めて、空容器に回収する。飛散した箇所は大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策： 粉塵は空気と混合すると爆発性のある混合物を生成する。
 取扱いは換気の良い場所で行う。局所排気施設内で使用する。使用の際は適切な保護具を着用する。取扱い後は手を洗淨する
 注意事項： 開封や取扱う際に粗暴な扱いをしない。皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。漏れ、溢れ、飛散等しないようにし、みだりに蒸気、エアロゾルを発生させない。使用中に飲食、喫煙をしてはならない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は手を洗淨する。
 接触回避： アルカリ、酸化剤
 安全取扱い注意事項： 吸入したり、目、皮膚および衣服に触れないように適切な保護具を着用

する。使用の際は適切な換気を行う。

保管

- 適切な保管条件： 高温、直射日光、湿気を避ける。
密閉して、換気の良いなるべく涼しい乾燥した場所で保管する（20±5℃）。
- 安全な容器包装材料： 鋼は不可

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに洗眼施設及び身体洗浄施設を設置する。
- 管理濃度： 設定されていない。
- 許容濃度
- OSHA PEL： 設定されていない。
- ACGIH TLV (s)： TWA 5mg/m³（アジピン酸として）
- 日本産業衛生学会： 設定されていない。
- 保護具
- 呼吸器の保護具： 防塵マスク
- 手の保護具： 保護手袋
- 目の保護具： ゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具： 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態・形状： 固体・粉末
- 色： 白色
- 臭い： 無臭
- pH： 2.9@20℃（10g/L）
- 融点： データなし
- 沸点（初留点） 235℃
- 引火点： >100℃
- 燃焼性： 可燃性
- 燃焼又は爆発範囲
（上限・下限）： なし
- 蒸気圧： データなし
- 比重： 1.455g/cm³
- 溶解性 水に可溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性： 安定。
- 危険有害反応可能性： 還元剤と反応する。本製品は爆発性はないが、濃縮すると爆発の恐れがある。強酸化剤と反応する。
- 避けるべき条件： 加熱
- 混触危険物質： アルカリ、酸化剤

11. 有害性情報

製剤についてのデータは無い。

- 急性毒性：
- こはく酸について
- 経口 ラット LD50=2260mg/kg
- 腹腔 マウス LD50=2702mg/kg
- 静脈 マウス LD50=1400mg/kg
- アジピン酸について
- 吸入 ラット LC50=7.7mg/L

皮膚腐食性・刺激性：	経口 ラット LD50=1900mg/kg アジピン酸について ウサギを用いた試験で軽度の刺激性を示した（CERI ハザードデータ集(1998)、BUA 68(1991)）、また、ヒトで皮膚を乾燥させ皮膚炎を起こすことがある（ACGIH(2001)）。
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	こはく酸について 目刺激 ウサギ 750 μ g 重度 アジピン酸について 目刺激 ウサギ 20mg/24 時間 中程度 ウサギを用いた試験で中等度から重度の刺激性を示した（CERI ハザードデータ集(1998)、PATTY(5th,2001)）。
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：	アジピン酸について ダストなどはヒトの上部気道粘膜に軽度の刺激性を示す（CERI ハザードデータ集(1998)、ACGIH(2001)）。
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：	アジピン酸について ヒトでの職業的ダスト吸入曝露で自律神経系及び消化器官の失調を起こした（CERI ハザードデータ集(1998)、ACGIH(2001)、PATTY(5th,2001)）。

1 2. 環境影響情報

製剤についてのデータは無い。

生態毒性：

魚毒性

アジピン酸について

甲殻類（オオミジンコ） 48 時間 EC50=46mg/L

残留性・分解性：

こはく酸について

分解度：78% by BOD（経産省既存化学物質安全性点検）

分解度：97% by TOC（経産省既存化学物質安全性点検）

生体蓄積性：

データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

可燃性溶剤に溶解し、スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。廃棄前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

汚染容器及び包装：

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類：

非該当

国連番号：

非該当

海洋汚染物質：

非該当

注意事項：

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法：

非該当

化学物質管理促進法：

非該当

労働安全衛生法：

施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物（No.10 アジピン酸）

1 6. その他の情報

引用文献

Lovibond Molybdenum HR F10mL (Cat.No.00530759,530750) 2011.09.13

13901 の化学商品 化学工業日報社

化学物質安全情報 研究会編 オーム社

化学大辞典 東京化学同人

関東化学株式会社 製品安全データシート (こはく酸、アジピン酸)

和光純薬工業株式会社 製品安全データシート (こはく酸、アジピン酸)

安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/>

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実験を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。